

大山隠岐国立公園（大山蒜山地域）における利用拠点の概要 （大山蒜山地域の特徴と強み）



大山蒜山地域の強み

- 山から海まで、極相林から牧草地まで、多様な自然の姿を体感できる様々な楽しみ方
- **大山信仰に代表される歴史文化が地域の風致と一体となって継承**
- 資源の持続可能な活用に利用者等が参加する仕組みが各地で運用
- 広域周遊のための各種取組が推進されており地域外を含めた連携が期待

大山寺地区



蒜山地区



大山隠岐国立公園（大山蒜山地域）における利用拠点の概要 （目指す方向性と先端モデル事業の対象とする利用拠点）

- 大山寺エリアは、**ブナ林に代表される植生などの自然資源と、大神山神社や大山寺に代表される歴史・文化資源の相互作用により維持されてきた風致景観**が残されており、大きな魅力となり得る
- 登山やガイドウォーク等の**自然体験アクティビティを通じて**、自然資源としてだけでなく、その背後にある歴史・文化資源との関わりを知ることで、**奥深い体験を得る**ことが可能
- 大山寺エリア一帯の魅力向上に、国、地方公共団体、地域住民や民間事業者が連携して取り組む体制が組織され、議論が進められており、**公民連携で滞在体験の魅力向上を進める機運が醸成**されている
- 宿泊施設の確保については、**集団施設地区を構成する民有地**が想定される。核となりうる宿泊施設事業者の参画を得て議論を進めている一方、**廃屋や廃業の可能性のある施設が多く存在**する

大山寺地区を利用拠点に選定し、面的な魅力向上の検討を深めていく

検討の方向性

- 民間企業のアイデアや資本の活用も含め、**一体的なブランディング・ストーリーの整理のもと、大山寺参道エリア周辺を中心とした地区ならではの滞在拠点の確保、滞在型の体験の推進**に重点的に取り組むことで、大山寺地区の魅力が十分に伝わる利用を推進する
- 具体的には、信仰の歴史に紐付いた宿坊での体験や寺社・歴史文化巡り、信仰により守られてきたブナ林の散策、キャンプ等のアウトドア活動、大山の豊かな水がもたらす食の恵みや食文化の体験等、**幅広い活動の拠点として宿泊施設や滞留施設の確保を行う**とともに、参道の景観を改善する
- 大山寺地区において滞在型の利用が増加することにより、**大山・蒜山地域全体の周遊利用**が促進されるほか、さらに**広域にわたる周遊利用**を促進する



図：大山蒜山トレッキングコースマップより（環境省発行2018年）